

# 中国の自動車市場を狙い、来料加工廠から現地法人へ (株式会社 葵精螺製作所)

## 会社概要(平成24年4月現在)

- 所在地:東京都大田区下丸子2-30-21
- 代表者:代表取締役 関 信也
- 資本金:5,000万円
- 売上高:8億2,000万円
- 従業員数:52名
- URL:<http://www.aoi-s.jp/>

## ①事業概要

### <特殊超精密ネジ・締結部品製造・販売>

特殊超精密ネジ・締結部品を製造して創業50年の歴史を有している。他社では真似できない特殊なネジでも、金型とヘッダーを使う圧造加工技術という独自の技術力でモノにする。カメラやセンサー用の当社の超精密ネジはマッチ棒の軸上に何個も乗る。自動車の重要保安部品に使用されるネジや締結部品は、一步間違えれば大事故にも繋がりがねない。その形状も単純なネジとは違っている。

## ②海外展開概要

### <中国における現地法人設立>

海外展開として、中国を選んだきっかけは、多くの中小企業に共通した生産コストの削減と、顧客の生の声を直接聞きたいという理由からであった。平成14年に日本に中国特需がもたらされ、中国国内の富裕層を狙った「製品国内販売型」に大きくかじをきたった年に進出した。折から広州を中心に中国進出を加速させつつあった日本の自動車産業の現地需要を先行して積極的に取り込むために、立ち上げ中の来料加工廠に加えて、現地法人を設立・運営するという両面作戦に迫られたのであった。長期にわたる不況で体力を消耗し、経営資源が限定されている中小企業にとっては、生易しい決断と環境ではなかったのであった。

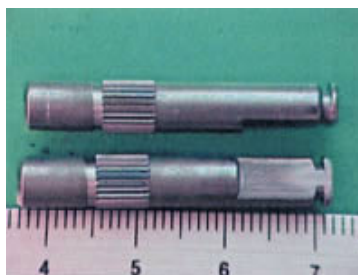
## ③取組の重点(活用した支援策を含む)

- 中小機構への相談を開始して50回以上を数え、貿易取引、海外進出等で数年にも亘った。また、現地同行アドバイスも行った。次の点に力を注いだ。
1. 深セン訪問前に葵精螺の本社工場、山梨工場を訪問して、予め同社の生産現場を把握
  2. 独資設立手続きの許認可に係る関係政府機関との事前の接触と人脈作り
  3. 既設の来料加工廠との関係整理
  4. 市場調査と販路開拓アドバイス
  5. 電力供給、地域開発、環境問題を含む投資環境調査、工場物件の権利関係調査 等
  6. 設立手続きに係る査定・確認、契約条件の確認。

## ④今後の事業展開について

先の反日暴動による工場操業への直接的被害は無かった。売り先が自動車関連の螺子であり、10月は単月で見ると独資工場は売り上げが3分の1落ちこんだ。合弁工場も2割は落ちた。11月は2分の1程度と見ている所である。

日系自動車関連会社を売り先とするだけに、日本車不買運動の影響をものに受けることとなることから、ここしばらくは動静を見守るしかないが、このままで行くなら将来をどうするかを検討をやがてはせねばならないかも知れない。(従来より同社はタイ生産準備のプロジェクトも機構と相談している)。



(平成24年10月現在)

データ出所:(独)中小企業基盤整備機構